

第6学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：「呉空襲・ヒロシマ」 ～過去・現在を知って未来を考える～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】

指導者 呉市立長迫小学校 坊田 友会

日時 令和4年10月17日（月）

場所 呉市立長迫小学校 第6学年1組教室

学年 第6学年1組（男子11名 女子10名 計21名）

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「平和とは何か、わたしたちに何ができるか考えよう」を基に構想している。卒業生が作成した作品や呉海軍墓地顕彰保存会の方、大和ミュージアムの出前授業から戦争の知識を深めたり、当時の状況と復旧に向けた取組を調べたりして、戦争や平和についての問題を捉えさせる。そして、『「呉空襲・ヒロシマ」 ～過去・現在を知って未来を考える～』という視点から自らの課題を設定し解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】を育成することをねらいとしている。

本校区は、昭和20年7月1日、2日にかけて呉市を襲った空襲「呉空襲」があった地域である。この空襲では約2千人が亡くなった。それまでの空襲は、主に呉軍港や広工場が多かったが、この日は呉市街地が焼かれ、多くの市民が亡くなった。長迫小学校も呉空襲の被害を受け焼失した公共建造物の1つである。それから77年経つ現在は、日本遺産に認定されている長迫公園（海軍墓地）へ学年ごとで月に1度清掃を行っている。また、毎年9月23日（秋分の日）には呉海軍墓地合同追悼式が行われ、代表児童として6年生3名が追悼の辞の奉読をしていることから、戦争について考える機会はある。

このような地域性を生かした学習課題を設定することで、児童は、地域の方々や関係機関の方から学ぶことを通して、自分たちにできる役割を考え、行動していくという目的意識をもって探究することができると思う。

本単元では、卒業生から学習を通して感じたことや大切にしたい思いなどを教えてもらい、呉海軍墓地顕彰保存会の方、大和ミュージアムの出前授業から戦争の知識を得て、当時の状況と復旧に向けた取組を調べることで、自分たちにできることを考えさせる。そして、自己の生き方について児童一人一人が考えをもち、どのような行動がとれるのか追究しながら学習を展開する。その中で、児童は、戦前・戦時中・戦後の人々の苦労や努力に触れ、自分たちがこれからの地域を守っていかなければならないことに気付き、学んだことを広めようとする思いをもつことができると期待している。このような学びの姿は、指導者が設定した本質的な問いを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

○児童観

本学級の児童は、1学期の単元「未来につなげよう長迫お天気ステーション」において、課題解決に向け、進んで情報を集めたり、調べる中で新たな疑問をもったりできるようになっている。

事前アンケートの結果を見ると、「戦争と平和の学習で学んだことや集めた情報を比べたり、分類したり、関連付けたりして、自分のことばで表し、伝えることができる。」の項目で肯定的回答が80%を下回った。このことから、集めた情報を取捨選択しながら学びを深めるまでに至っていないと考えられる。そして、自分の考えたことを自分の言葉で他者に分かりやすく伝えることができにくいと考える。

そのため、本単元の諸問題を解決する一連の活動において、自分の言葉で考えや理由を整理・分析することで「平和とは何か、わたしたちに何ができるか考えよう」の視点で平和や戦争についての理解を深めさせ、自ら考え実践しようとする力を育てていく。

児童は、毎年7月1日や8月6日に亡くなられた方々へ黙祷を行ったり、各教科で戦争や平和について学んだりしている。しかし、実際にどのようなことが起こったのかについて詳しくは知らない児童が多い。

本単元に関わる事前アンケート

①戦争と平和の学習で必要な情報を集め、活用することができる。	・・・ 88%
②戦争と平和の学習で学んだことや集めた情報を比べたり、分類したり、関連付けたりして、自分のことばで表し、伝えることができる。	・・・ 75%
③自分で課題を見付け、その解決に向けて粘り強く挑戦することができる。	・・・ 81%

○指導観

指導に当たっては、次の点に留意する。

【探究的な学びにつながる人・もの・ことの活用】

探究的な活動を支える土台として、課題意識をもたせることや、探究的な見方・考え方を働かせることを重視し、人・もの・ことを活用していく。

まず、戦争や平和について考える足がかりとして、ゲストティーチャーとして卒業生から当時作成した作品をもとに学習を通して感じたことや大切にしたい思いについて語ってもらい、児童は自分なりに「平和」とは何かを考える。そして、戦前・戦時中・戦後の変化を比較する活動を通して戦争による街や国民生活の変化を事実として捉えさせる。

次に、第1次で考えたことや感じたことを基に、地域の方や呉海軍墓地顕彰保存会の方の出前授業を実施する。そこから戦争の知識を得て、気になったことやもっと調べたいことをグループで調べる。特に戦後、呉市の復興に向けて動かれた方やお店に着目して調べさせる。調べたことを分類・整理した後、スライドで発表する。

最後に、調べたことなどから自分にできる平和活動や役割には何があるのかを考えさせていく。その後、自分にできる行動を平和宣言にまとめ、一人でも多くの人に平和な世の中に向けた活動が伝わるよう広めていく。

このような単元を通じた活動が、「平和とは何か、わたしたちに何ができるか考えよう」「これから生きるわたしたちの役割には、どんなことがあるだろう」といった一人一人の課題意識をもつことにつながると考える。また、身近にあった戦争の跡を学ぶことで昔の話としたり、遠い場所の話と捉えたりせず、今の生活につながる現実の出来事と感じさせることで、自分たちの力が地域を創っていくと感じ、今後、地域の課題解決に向け、更に主体的に地域と関わっていく姿を期待している。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

呉空襲を基に戦争や平和について調べる活動を通して、自らの課題を設定したり、課題解決に必要な情報を集めたりしながら、自分に何ができるか積極的に考え、実践することができるようにする。

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性
① 平和な町，世界を実現する組織や人々の取組，工夫や努力を理解している。 ② 出前授業による聞き取りや調査活動を，相手や場面に応じた方法で実施している。 ③ 平和な町，世界を実現するためには，人々の工夫や努力の成果であることに気付いている。	① 平和や戦争について学習する中で課題を設定している。 ② 課題を解決するために必要な情報を多様な方法で収集している。 ③ 収集した情報を必要に応じて取捨選択し，自分にできることを考えるために活用している。 ④ 分かったことや考えたことを分かりやすくまとめ，相手や目的に応じて，効果的な方法で表現している。	① 自分と異なる意見や考えを生かしながら，協働的に探究活動に取り組もうとしている。 ② 自分と社会との関わりに気付き，自分に何ができるか考えようとしている。

指導と評価の計画

(全 27 時間) 本時は 17/27

〈本質的な問い〉「平和とは何か，わたしたちに何ができるかを考えよう」

次(時)	学習内容 【他教科等との関連】	評 価	
		評価規準 (評価方法)	資質・能力
一 (7)	課題の設定 「平和ってどんなことか考えよう。」 ○ 卒業生が作成した作品をもとに当時の思いを聞き，学習に見通しをもつ。(1時間) 【他教科との関連】 国語科「ヒロシマのうた」 情報収集 ○ 平和について考える。(1時間)	・ 作品や話から学習上，大切なことや思いに着目し，課題意識をもち，学びの視野を広げようとしている。(ワークシート，発言) ・ ウェビングマップやK J法を使用して，平和とはどのようなことか書き，平和を維持するための人々の取組や努力に気付いている。(思考ツール，発言)	思考力・判断力・表現力① 知識・技能③

【単元を貫く課題】

これからを生きるわたしたちの役割には，どんなことがあるだろう。

【単元を貫く課題】これからを生きるわたしたちの役割には、どんなことがあるだろう。

二
(15)

<p>○ 写真から戦前・戦時中・戦後の変化を比較する。(3時間)</p> <p>整理・分析</p> <p>○ 児童の考えと情報を表に整理する。(1時間)</p> <p>振り返り</p> <p>○ 平和についての学びを振り返り、次時の活動に見通しをもつ。(1時間)</p>	<p>・ T-チャートで戦争による街や国民生活の変化をそれぞれの時代と比較し、平和と関連付けて考えている。(ワークシート, 発言)</p> <p>・ 二次元表にそれぞれの考えを整理し、共通点や相違点を明らかにしている。(思考ツール, 発言)</p> <p>・ 活動の課題を発見し、解決に向けて、協働的に探究活動に取り組もうとしている。(ワークシート, 発言)</p>	<p>知識・技能①</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>主体性・積極性①</p>
<p>新たな課題の設定</p> <p>「呉空襲について知ろう。」</p> <p>○ 前時の表を活用して新たな課題を設定し、出前授業の視点を確認する。(1時間)</p> <p>情報収集</p> <p>○ 呉空襲に関わる出前授業を実施し、戦争について学ぶ。(2時間)</p> <p>○ 呉海軍墓地顕彰保存会の方に戦後の呉の様子や呉海軍墓地に関わる出前授業を実施し、戦争について学ぶ。(2時間)</p> <p>グループ活動</p> <p>○ これまでの学習で気になったことを絞り、グループで調べる。(4時間)</p> <p>【他教科との関連】 国語科「ヒロシマのうた」</p> <p>整理分析</p> <p>○ 収集した情報を分類・整理する。(1時間)【本時】</p>	<p>・ 課題を設定し、学習の計画を立てている。(ワークシート, 発言)</p> <p>・ 呉空襲によって呉の町並みや人々に何があったか理解している。(ワークシート, 発言)</p> <p>・ 戦後の呉の様子や呉海軍墓地について理解している。(ワークシート, 発言)</p> <p>・ 戦後の復旧に向けての取組や現在の平和に向けての取組など目的に応じた調査活動をしている。(ワークシート, タブレット)</p> <p>・ 座標軸を使用して収集した情報を呉空襲を視点に分類・整理し、課題を追究する為に活用している。(思考ツール, 発言)</p>	<p>思考力・判断力・表現力①</p> <p>知識・技能②</p> <p>知識・技能②</p> <p>思考力・判断力・表現力② 知識・技能②</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p>

【単元を貫く課題】これからを生きるわたしたちの役割には、
どんなことがあるだろう。

三
(5)

<p>まとめ・表現</p> <p>○ テキストにまとめる。 (3時間)</p> <p>○ プレゼンテーションを行う。 (1時間)</p> <p>振り返り</p> <p>○ 平和と戦争の学びを振り返り、生活の中で自分達にできる行動について意見交流する。(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を関連付け、相手意識をもって効果的な方法で表現している。 (発言, ワークシート, タブレット) ・自分と異なる意見や考えを生かしながら, 協働的に探究活動に取り組もうとしている。 (ワークシート, 発言) ・自分の生活とのつながりやこれからの行動について考えている。 (発言) 	<p>思考力・判断力・表現力④</p> <p>主体性・積極性①</p> <p>主体性・積極性②</p>
<p>新たな課題の設定</p> <p>「平和宣言を書こう」</p> <p>○ 「人を大切にする」をキーワードに平和宣言の見通しをもつ。(1時間)</p> <p>情報収集</p> <p>○ 平和宣言の構成を考える。(1時間)</p> <p>整理・分析</p> <p>○ 自分の思いや願いを整理する。(1時間)</p> <p>まとめ・表現</p> <p>○ 平和宣言を書く。 (1時間)</p> <p>【他教科との関連】 国語科「世界に向けて意見文を書こう」</p> <p>振り返り</p> <p>○ 平和宣言を読み合い、自分達の行動について意見交流をする。(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平和宣言を書く見通しをもっている。 (ワークシート, 発言) ・ステップチャートを使用して平和宣言の構成を考えている。 (ワークシート, 発言) ・クラゲチャートを使用して思いや願いを整理する。 (ワークシート, 発言) ・分かったことや考えたことを分かりやすくまとめている。 (ワークシート, 発言) ・平和宣言と自分達の生活とのつながりを理解している。 (ワークシート, 発言) 	<p>主体性・積極性②</p> <p>主体性・積極性②</p> <p>思考力・判断力・表現力③</p> <p>思考力・判断力・表現力④</p> <p>主体性・積極性①</p>

本時の展開

本時の学習

(1) 本時の目標

座標軸を使用して収集した情報を分類・整理し、課題を追究する為に活用することができる。

(2) 本時の評価規準

座標軸を使用して収集した情報を呉空襲を視点に分類・整理し、課題を追究する為に活用している。

【思考力・判断力・表現力③】

(3) 学習の展開 (第17時/全27時間)

分	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
3	1. 「今日のなるほど・明日のために」を発表し学習課題を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ④ グループで集めた戦後の情報をまとめて、キーワードを見つけよう。 </div>			
15	2. テーマ別グループで収集した情報をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの共有ノートを使用して座標軸状にKJ法でテキストを分類したり、関係づけたりしながらグループで考えをまとめさせる。 ・情報を整理させることで追究する目的や内容の焦点化を図る。 	座標軸を使用して収集した情報を呉空襲を視点に分類・整理し、課題を解決する為に活用している。 【思考力・判断力・表現力③】 (思考ツール, 発言)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> </div>		
15	3. テーマ別グループで整理したことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで整理したことから、類似点に気づき、キーワードを見付ける。 	
	食べもの (店) 暮らし (服) 技術 (仕事) 街 (様子) 人 (復興に関わる)	当時の思い ・この状況を良くしたい <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに苦しい思いをさせたくない 努力 ・できることをコツコツ続けた <ul style="list-style-type: none"> ・時代に合わせて工夫した 成果 ・呉市で有名になった <ul style="list-style-type: none"> ・全国で使われている 現在の思い ・技術を伝えてほしい <ul style="list-style-type: none"> ・守ってほしい 	
10	4. テーマ別グループでまとめる。	⑤ 戦後、悲惨な状態の街を良くしていこうという思いで努力した結果が現在の呉市の発展につながっていると考えた。	
2	5. 「今日のなるほど・明日のために」を書く。	⑥ 必要な情報を整理すると、どのグループでも同じ思いをもって復興していたことが分かりました。	

(4) 板書

㊦ グループで集めた情報をまとめて、
キーワードを見つけよう。

㊧ 戦後、悲惨な状態の街を良くしていこう
という思いで努力した結果が現在の呉市
の発展につながっている。

